

報道関係者各位

ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
2024年12月16日
PCI-RE2024023

ロイヤルエンフィールド、タイに新たな組立工場を開設し、 アジア太平洋地域への覇権を拡大

- ロイヤルエンフィールドはタイ初となる車両組立工場を開設。グローバル市場への進出、国際的なプレゼンスをさらに強化することを目指します
- 新工場を通じ、タイに対する長期的なコミットメントを強く打ち出しています
- 新工場にはロイヤルエンフィールド初のパワートレイン専用施設を併設予定。この施設はアジア太平洋地域のディーラーおよび従業員向けのトレーニングセンターとして機能し、革新と成長を加速させます



ミドルクラスモーターサイクル(250cc~750cc)部門における世界的なリーダーであるロイヤルエンフィールドは、タイにおける新しいCKD(コンプリート・ノックダウン)組立工場の操業開始を発表しました。これはタイでのロイヤルエンフィールド初の完全所有・運営によるCKD組立工場であり、同地域に対するブランドのコミットメントを強化する重要なステップとなります。新工場はバンコクのサムットプラカーンに位置しており、アジア太平洋地域における新たな一歩を踏み出すものです。

ROYAL ENFIELD



新工場の開設式でロイヤルエンフィールド CEO の B Govindarajan は次のように述べています。
“ロイヤルエンフィールドはミドルクラスモーターサイクル分野を世界的に成長させるために、広範囲にわたる取り組みを行っており、手頃な価格で個性を表現できるモーターサイクルを求める世界

ROYAL ENFIELD

中の方々から大きな反響をいただいています。私たちは様々なプラットフォームで世界中のオーディエンスに訴えるモーターサイクルの幅広いラインナップを提供しています。ロイヤルエンフィールドは真のグローバルブランドであり、英国・韓国・オーストラリア・ニュージーランドなどの市場では、ミドルクラスモーターサイクルの最高位に位置付けられています。当社の戦略的意図は、成長の可能性が大きい市場に投資する国際的な拡大戦略です。ロイヤルエンフィールドの新しい組立工場は当社のビジョンを具体化したものです。この施設によりロイヤルエンフィールドのDNAである「ピュアモーターサイクル」を体験するライダーの数がこれからも増加することが期待されます。アジア太平洋地域のような市場は、ミドルクラスセグメントにとって大きな可能性を秘めています。そのため、これらの市場により注力し事業を成長させることが当社の戦略的な意図でした。これは市場の潜在性と成長するオートバイコミュニティに対する当社の取り組みの証です。この施設は、タイ国内のミドルクラスセグメント市場の成長に貢献するとともに、この地域における需要の高まりにも効率的に対応できるものと確信しています”

この発表はアジア太平洋地域における同社の事業にとって大きな後押しとなるものであり、タイに対するロイヤルエンフィールドのさらなるコミットメントを改めて示すものです。この新しい施設はアルゼンチン・コロンビア・ブラジル・バングラデシュ・ネパールに次いで、ロイヤルエンフィールドにとって世界で6番目のCKD組立工場となります。



タイの新工場の開設について、ロイヤルエンフィールドのアジア太平洋地域事業責任者である Anuj Dua (アヌージ・ドゥア) は次のように述べています。

ROYAL ENFIELD

“ロイヤルエンフィールドにとってタイは非常に重要な市場であり、タイのミドルクラスモーターサイクルセグメントを開発するだけでなく、拡大することに常に努め、着実な成長を遂げてきました。タイ全土に存在する私たちのお客様と情熱的なコミュニティは、ロイヤルエンフィールドブランドのオーナーシップをとっても大切にしています。その結果、タイでの事業開始以来 150%以上の成長を遂げてきました。タイの多様な地形・文化・多様性は、当社のモーターサイクルに理想的な環境を提供しています。ネットワーク・お客様・コミュニティ・ポートフォリオなど、長年にわたる当社の成長は非常に心強いものです。私たちは、タイのライダーの皆さまに共感していただけるような、素晴らしいモーターサイクルと体験を提供することに引き続き尽力してまいります。2024 年以降を見据えた戦略的イニシアティブにより私たちの地位はさらに強固なものとなり、着実な成長軌道を確認できるでしょう”

57000 平方フィートの工場は年間 3 万台以上の生産能力を備えており、現地組立部門は国内の需要の高まりに対応する最新鋭の近代的な施設です。この新工場の開設によって、お客様へのより効率的で柔軟なモーターサイクルの提供が可能となり、さらにシームレスな体験を提供できるようになります。

新工場はまずタイ市場を対象に生産を開始し、その後段階的にアジア太平洋地域全体に供給をしていく予定です。



ROYAL ENFIELD

<ロイヤルエンフィールドについて>

ロイヤルエンフィールドは1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。私たちはイギリスにルーツを持ち、1955年にインド・マドラスに製造工場を設立。これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドのミドルクラスモーターサイクルセグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドでは、「Pure Motorcycling(ピュア・モーターサイクリング)」と呼ばれるアプローチのもと、魅力的でシンプルで親しみやすく乗るのが楽しい探検と自己表現のためのモーターサイクルを製造してきました。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、電動モーターサイクルブランドの「Flying Flea(フライング・フリー)」が含まれます。フライング・フリーはクラシックスタイルの「Flying Flea S6(フライング・フリー・एसロク)」とスクランブラースタイルの「Flying Flea S6(フライング・フリー・एसロク)」をミラノで公開しました。また「Bear 650(ベア・ロクゴーマル)」、「Classic 650(クラシック・ロクゴーマル)」、モダン・ロードスターの「Guerrilla 450(ゲリラ・ヨンゴーマル)」、「Hunter 350(ハンター・サンゴーマル)」、「Meteor 350(メテオ・サンゴーマル)」、「Super Meteor 650(スーパーメテオ・ロクゴーマル)」、「INT 650(アイエヌティ 650)」、「Continental GT 650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)」、「Shotgun 650(ショットガン・ロクゴーマル)」、新型「Himalayan(ヒマラヤ)」アドベンチャー・ツアラー、「Scram 411 ADV Crossover(スクラム・ヨンイチイチ・エーディーブイ・クロスオーバー)」、象徴的な「Bullet 350(ブリット・サンゴーマル)」、「Classic 350(クラシック・サンゴーマル)」、新型「Goan Classic(ゴーン・クラシック)」なども含まれています。

Eicher Motors Limited(アイシャーマーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールド社は、インドの主要都市に2,050箇所以上の店舗、世界60カ国以上に約850の店舗を展開しています。また、イギリスのブランディングソープとインドのチェンナイの2箇所にてテクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。世界では、ロイヤルエンフィールド社は、アルゼンチン・コロンビア・ブラジル・バングラデシュ・ネパール、そして新たにタイにも最新のCKD(コンプリート・ノックダウン:製造国から車両すべての部品を輸入し、現地で組み立てて完成車とする方法)組立施設を有しています。

ロイヤルエンフィールドは、すべてのモーターサイクルに3年間のロードサイドアシスタンスと保証を提供しています。これは世界的な保証制度を導入したインド初のモーターサイクルブランドであり、世界中のロイヤルエンフィールドオーナーに向けて「エンジンをかけ、果てしない道を駆け抜け、限界を超えて新たな冒険に挑む」というメッセージを発信するものです。

報道関係者向け画像ダウンロードサイトはこちら。

<https://www.royalenfield.co.jp/download/>

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>